

新しい職員の紹介

のべ ゆうき
(臨職) 野邊 悠晴



火曜と水曜の夜にかけて勤務しています。「ゆうき」という大層な名を授かっていますが、プレッシャーなるものにめっぽう弱く(笑)今は大学受験に向けて勉強中!ここに勤め始めてからは、職員の方をはじめ、多くの方々と接することで、たくさんの刺激を受け充実した日々を送っております。話を聞くのが好きなので、気軽に話しかけてください。

サマースタディ in まち館

対象 堅粕小学校1年生～6年生
宿題向けの夏休み集中学習会のご案内です。

今年は10日間実施します、宿題が終わった後は練習問題等の課題を勉強します。

1年生・2年生・3年生 10:00～11:00

4年生・5年生・6年生 11:00～12:00

7月22日(金)・25日(月)・26日(火)・27日(水)・29日(金)

8月1日(月)・2日(火)・3日(水)・5日(金)・8日(月)

夏休みの日ごろの過ごし方として、「午前中は勉強、午後から遊ぶ」というような生活習慣を作ることを目的とします。

夏休みの宿題でわからない所の指導など補充学習を行いたいと思います。



教職員実習生の方5名にも指導して頂きます。

皆さまの参加をお待ちしております。

申し込み締切 7月20日(月)

※延期しました。

※ 自転車での来館は禁止です、必ず筆記用具など学習に必要なものやお茶(水筒)等はご持参ください。

堅粕校区人尊協 講演会のご案内

日時: 7月28日(木) 19:30～

場所: 堅粕公民館 講堂

内容: 「生まれ来る子へ」
～家庭の中の人権～ 人権啓発DVD

いわき くにひろ
講師: 岩城 邑弘 氏 (博多区人権教育推進員)

「知識の習得だけに終わらず、明日からの生き方が変わるような、心に響く人権学習をめざそう」

皆さんお誘いあわせの上、ご参加をお願いします。

パソコン教室(初級)開催のお知らせ

日時: 2016年7月19日(火) から14回

※ お盆を除く、火・金曜日の週2回ペースです。

時間: 19:00～21:00

申込締め切り: 7月14日(木)

Word2007・Excel 2007 を学習します。
パソコンを使った事が無い方でも大丈夫、基礎から学習します。

ビジネス文書やチラシ・ポップの作成、表計算ソフトでの集計・統計、グラフ作成など、仕事でも活かせる内容も入っています。

お問い合わせは、堅粕人権のまちづくり館まで
☎ 651-9452

申込み用紙は、堅粕人権のまちづくり館、堅粕公民館に置いてあります。



第1回 陶芸教室のご報告

2016年6月18日(土) 10:00～ 17名参加



初めての交流講座でしたが、子ども連れのお母さんたちの参加が多く、親子で1つのカップを作るなど、いいふれあいの場になった様子。作品は色が指定でき、先生の窯で焼いてもらった後、受け取ります。

月額 1000 円



「痛みやコリの原因は自分です」
痛まない、傷めない、疲れない体づくりを始めませんか？

自分の体がわかる教室！ まち館健康教室 シリーズ

年だからとあきらめないで！自分で動けば体は必ず変わります！
体のゆがみやクセ、個別チェックを受けながらご自分のペースで参加できます。



ステップ1

健康体操

ほぐす・きたえる
有酸素運動・伸ばす
★火曜 13時半～

正しい姿勢



ステップ2

りん歩会

ポールスティック
を使って歩きます
★第2・4金曜9時半～

正しい歩き方



ステップ3

季節の ポールウォーキング

少し遠くへ★次回 11/8

ステップ1・2
をいかして



受診ありがとうございました！ まち館けんしんデー 6月29日(水)

よかドック、肺がん検診、
大腸がん検診、各30名
以上の方に受けて頂きました！
よかドック30、胃がん、
子宮頸がん、乳がん等の検診も
ぜひ受診を♪



○お問合せ

保健福祉センター健康課 (TEL419-1091)
又はまち館へ

○お申込み

病院で受ける方・・・各医療機関へ
保健福祉センターで受ける方・・・予約センター(TEL0120-985-902)



堅粕の史跡めぐり ③

踏切番少女・お栄と新聞人・菊竹六鼓を結ぶもの (その2)

今から111年前、明治38(1905)年に堅粕で起こった鉄道事故エピソードの続編。
堅粕第3踏切(現：堅粕2丁目交差点)で踏切番をしていた少女お栄(10歳)の事故死。危険をかえりみず職務を全うしたお栄の行いに心を痛め、共感した福岡日々新聞(現西日本新聞)記者：菊竹六鼓は、「理想の死」と題し、一面トップ(論説)で発表しました。
曰く「...我が福岡県民は(日露戦争の英雄)広瀬中佐、東郷大将を出していないけれども、恥じる必要はない。なぜならば、可憐で勇敢なる一少女お栄を出しているのではないか。この事実は、永遠に我が福岡県民の誇りであり、名誉である。」
「東郷大将、万々歳！」の時代にもかかわらず、この記事は全国の読者を感動させ、翌日の新聞には、遺族にと、香花料(香典)が本社に届けられた記事が出され、次々に続報が出ます。
「朝倉郡〇〇氏から金一円、無名氏から五十銭、福岡高等女学校職員有志より金二円六十銭、福岡天神丁(てんじんのちょう)私立〇〇女学館生徒から一円、九鉄運転手〇〇氏から五十銭、〇〇高等小校生徒二百余人はお栄の墓所に参り、弔詞・弔歌に添えて、菓子二箱女生徒から二円を贈る」等々……。香花料(香典)は、遠く大阪、神戸からも届けられました。
堅粕の少女・お栄と新聞人・菊竹六鼓を結んだ温かい心情、その事実に心から共感した多くの人々の存在。
ここには、後世へ語り継ぐべき大切なものがあるような気がします。



昭和17年頃 堅粕第3踏切
(現：堅粕2丁目交差点)



「理想の死」：福岡日日新聞の一面記事(明治38年6月22日付)